

# 総合診療科

## ■ スタッフ

科長		竹村 洋典
医師	常勤	6名
	非常勤	3名

## ■ 特色・診療対象疾患

### 1. 当科の特色

地域の住民が健康で豊かな生活を送ることを目指し、臓器にかかわらず様々な身体や心の問題に対して診療することにより、患者中心の医療を提供するようにつとめました。様々な職種のスタッフとの協働体制をとっています。そして総合診療の経験豊かな教員スタッフと教員スタッフの指導の下、学生・研修医も真摯に診療しました。

### 2. 主な診療対象疾患

○かぜ、頭痛、めまいなど、日常でよく起こりうる病気や症状がある方の診療

○様々な疾患をもったり、問題が多臓器に及んだりするため、一つの科だけでは診られない方の診療

○不明熱、原因不明の検査異常など他の医療機関や他の専門科で診断・治療が難しい方の診療

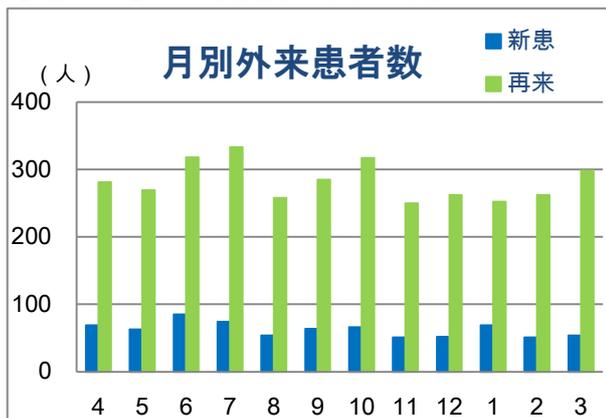
○精神科での治療が必要でないうつ病などの心の問題のある方の診療

○大学病院でないと出来ない健診・検診業務

## ■ 活動実績

診療患者数は、別表の通り推移しています。

昨年度までと同じく、複数・多領域にまたがる症例を継続的に診療することが多かったが、最近では、近隣医療機関からの診断に難渋する例の紹介も増えてきている状況にあります。



## 1. 治療実績

○かぜ、頭痛、めまいなど日常でよく起こりうる病気や症状

○どこに受診したらよいかわからない症状

○身体の問題をもちながら心の問題ももつ疾患

○他の医療機関や他の専門科で原因がわからない症状

○入学や入社などに必要な健康診断

## 2. 教育活動の実績

教育・研修

### 1. 卒前医学教育

(1) 医療と社会 (医学科 1 年生)・地域基盤型保健医療教育 (医学科 1, 2 年生)

(2) 研究室研修 (医学科 3-4 年生)

(3) 基本的技能臨床教育 (医療面接など)

(4) チュートリアル

(5) クリニカルクラークシップ (家庭医療・地域医療) (医学科 4-5 年生)

(6) 臨床実習 (家庭医療選択) (医学科 6 年生)

(7) 感染症レクチャーシリーズ

(8) 多職種の学生による多職種連携教育

### 2. 卒後臨床研修

(1) 初期研修

(2) 家庭医療・総合診療後期研修

(3) 基幹病院での出張研修医教育

### 3. 大学院教育

(1) 修士課程 (家庭医療・地域医療)

(2) 博士課程 (家庭医療・地域医療)

### 4. 地域の医師向け生涯教育

### 5. 市民向けワークショップ

### 6. 多職種連携教育

## 3. 臨床研究等の実績

### 1. 出版 (書籍)

- ・ 北村大, 市川周平 (編著), 竹村洋典 (監): 主治医と産業医のより良い協力関係を目指して... 株式会社ナミカワ, 四日市. 2017.
- ・ 小嶋秀治: 上肢骨折後. In: 若林秀隆 (編). その患者さん、リハ必要ですよ!! 羊土社, 東京. 2016: 222-223.
- ・ 小嶋秀治: 運動器不安定症 (ロコモを含む). In: 若林秀隆 (編). その患者さん、リハ必要ですよ!! 羊土社, 東京. 2016: 236-237.
- ・ 高村昭輝: 幼小児・思春期のケア. In: 草場鉄周, 一瀬直日 (編). 総合診療 (2) 専門医の腕の見せどころ症例～最上のポートフォリオに向けて～. 中山書店, 東京. 2016.
- ・ 大西丈二: クエスチョン・バンクケアマネ

2016 (編集協力). . スーパー総合医「コモンディーズ 診療の技を磨く」. 株式会社メディックメディア, . 2016.

## 2. 原著論文 (学会誌, 総説含む)

### 国際誌

- Goto M, Takemura Y. Which medical interview skills are associated with patients' verbal indications of undisclosed feelings of anxiety and depressive feelings?. *Asia Pac Fam Med* 2016; 15: 2-2. DOI: 10.1186/s12930-016-0027-x
- Haruta J, Sakai I, Otsuka M, Yoshimoto H, Yoshida K, Goto M, Shimoi T. Development of an interprofessional competency framework in Japan. *Journal of Interprofessional Care* 2016; 30: 675-677. doi: 10.1080/13561820.2016.1192588
- Horibata K, Tanoue A, Ito M, Takemura Y. Relationship between renal function and serum magnesium concentration in elderly outpatients treated with magnesium oxide. *Geriatr Gerontol Int* 2016; 16: 600-605.
- Kato D, Trevino P, Yuasa M, Ichikawa S, Wakabayashi H, Takemura YC. Comments on "Encouraging Patient-Centered Care by Including Quality-of-Life Questions on Pre-Encounter Forms". *Ann Fam Med* 2016.
- Mishima C, Kato D, Okamoto M, Suzuki K. Report on the World Medical Association General Assembly and the Junior Doctors Network Meetings, Taipei, 2016. *Jpn Med Assoc J* 2016; 59: 162-164.
- Oishi A, Haruta J, Yoshimi K, Goto M, Yoshida K, Yoshimoto H. Cross-cultural adaptation of the professional version of Readiness for Interprofessional Learning Scale (RIPLS) in Japanese. *Journal of Interprofessional Care* 2017; 31: 85-90.
- Shikata S, Takemura Y. SecondHand smoke exposure and risk of lung cancer in Japan: a systematic review and meta-analysis of epidemiologic studies. *Japanese Journal of Clinical Oncology* 2016. doi: 10.1093/jjco/hyw173
- Takamura A. The new era of postgraduate certified general practice training in Japan. *Education for Primary Care* 2016; 27: 409-412. DOI: 10.1080/14739879.2016.122023
- Takamura A, Ito S, Maruyama K, Ryo Y, Saito M, Fujimura S, Ishiura Y, Hori A. Quality of basic life support education and automated external defibrillator setting in schools in Ishikawa. *Pediatr Int* 2016; 59: 352-356. doi: 10.1111/ped.13155
- Tanizaki R, Oya M, Takemura Y. Purpura on the truncus and extremities. *Emerg Med J* 2017; 34. doi:10.1136/emered-2016-205777
- Ukai T, Shikata S, Kassai R, Takemura Y. Daikenchuto for postoperative adhesive small bowel obstruction: A systematic review and meta-analysis. *World J Meta-Analy* 2016; 4: 88-94.
- Ukai T, Shikata S, Takeda H, Dawes L, Noguchi Y, Nakayama T, Takemura YC. Evidence of surgical outcomes fluctuates over time: results from a cumulative meta-analysis of laparoscopic versus open appendectomy for acute appendicitis. *BMC Gastroenterology* 2016; 16: 37-37.

### 和文誌

- 中富尚宏. 親に捨てられたと信じていた男子高校生が児童養護施設から自立に至るまでの一考察～親子関係の再構築を目指した家族支援～. *家族療法研究* 2016; 33: 84-84.
- 中富尚宏. 乳幼児虐待死のサイコロジカル・オートプシー～8事例のリスク分析～. *乳幼児医学・心理学研究* 2016.

## 3. 原著論文以外 (商業誌, 総説含む)

- Kato D. Efforts of junior doctors to refined the primary care in Japan. *Junior Doctors Network Newsletter* 2016.
- 岩佐紘. 行動変容アプローチ. *レジデント・特集「医療面接 学びなおし」* 2016; 9: 34-40.
- 北村大. Patient centered clinical method (患者中心の医療の方法) と BPS モデル. *レジデント・特集「医療面接 学びなおし」* 2016; 9: 18-26.
- 後藤道子. 社会人として知っておきたいビジネスマナー. *レジデント・特集「医療面接 学びなおし」* 2016; 9: 93-95.
- 田口智博. コーチングを活用した効果的な医療面接. *レジデント・特集「医療面接 学びな*

- おし」 2016; 9: 41-47.
- ・ 竹村洋典. 医療面接にかかわるエビデンス. レジデント・特集「医療面接 学びなおし」 2016; 9: 13-17.
  - ・ 竹村洋典・森洋平. 特集にあたって. レジデント・特集「医療面接 学びなおし」 2016; 9: 5-5.
  - ・ 宮崎景. 定期通院患者との医療面接. レジデント・特集「医療面接 学びなおし」 2016; 9: 55-61.
  - ・ 若林英樹. 家族志向型ケア. レジデント・特集「医療面接 学びなおし」 2016; 9: 27-33.
  - ・ 加藤大祐、岡本真希、鈴木航太. 世界医師会台北総会 ～Regional Meeting～. DOCTOR-ASE 2017.
  - ・ 洪 英在. 「食事を食べない患者さん」. 総合診療のGノート 2016; 3: 959-964.
  - ・ 洪英在. コミュニケーションが困難な患者との医療面接. レジデント・特集「医療面接 学びなおし」 2016; 9: 62-69.
  - ・ 四方哲. 受動喫煙のリスク、なぜ絶対リスク差で表現しないのか?. 雲出川 (久居一志地区医師会雑誌) 2016; 33: 15-16.
  - ・ 四方哲. エビデンスにもとづいた医療を行うための医療面接. レジデント・特集「医療面接 学びなおし」 2016; 9: 87-92.
  - ・ 森洋平. 医療面接 学びはじめ. レジデント・特集「医療面接 学びなおし」 2016; 9: 6-12.
  - ・ 谷崎隆太郎. 初回受診患者との医療面接 ～「〇〇歴」の上手な聴き方～. レジデント・特集「医療面接 学びなおし」 2016; 9: 48-54.
  - ・ 田口智博. コーチングを活用した行動変容～聴き方/訊き方次第で患者さんの行動が変わる～ (1). 三重県保険医新聞 2015; 493号: 5-5.
  - ・ 田口智博. コーチングを活用した行動変容～聴き方/訊き方次第で患者さんの行動が変わる～ (2). 三重県保険医新聞 2015; 494号: 5-5.
  - ・ 田口智博. 4) コーチングプロセスのスキルー面談のコンテキストと GROW モデル. 治療 2016; 98: 1389-1395.
  - ・ 田口智博. 14) チームコーチング. 治療 2016; 98: 1448-1457.
  - ・ 湯浅美鈴. 終末期にある患者やその家族との医療面接. レジデント・特集「医療面接 学びなおし」 2016; 9: 79-86.
  - 4. 国内学会・研究会発表 (口述, ポスターを含む)
    - ・ 家研也, 市川周平, 他: 医学生が専門分野として総合診療を志望することに関連する因子の検討. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2016, 東京.
    - ・ 市川周平: クラスタ分析の入門. 第26回臨床疫学研究における報告の質向上のための統計学の研究会 2016, 東京.
    - ・ 市川周平, 北村大, 鶴飼友彦, 竹村洋典: 主治医と産業医の連携に関連する要因の探索: 横断研究. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2016, 東京.
    - ・ 北村大, 市川周平, 鶴飼友彦, 竹村洋典: コンセンサスメソッドによる主治医と産業医が連携する疾患の開発. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2016, 東京.
    - ・ 遠藤聡恵, 池田道智江, 吉村恵美, 若林千秋, 渋谷咲子, 四方哲: 糖尿病教室の改良とその効果. 第47回日本看護学会ヘルスプロモーション 2016, 三重.
    - ・ 鎌田隆広: 地域の薬局と連携した薬剤師訪問体制構築の取組. 三重県地域包括ケア推進セミナー・三重県地域医学研究会 2016, 三重.
    - ・ 吉村恵美, 池田道智江, 萩原美香, 須崎昌樹, 上田加奈子, 井端清二, 渋谷咲子: 超高齢化地域における健康教室開催の意義. 第47回日本看護学会ヘルスプロモーション 2016, 三重.
    - ・ 橋本修嗣, 東悟史, 松林陽, 近藤誠吾, 鶴田真三, 矢部千鶴, 鶴飼友彦, 和田健治, 洪英在, 四方哲: 救急隊と直通のホットライン開設で病院選定時間は短縮するのか. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2016, 東京.
    - ・ 近藤 誠吾, 堀端 謙, 竹村 洋典: ヘモグロビン値と皮膚・粘膜色の測色学的検討～貧血の視診所見を科学的に評価する. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2016, 東京.
    - ・ 近藤諭, 竹村 洋典, 市川 周平, 後藤 道子, 北村 大, 家 研也, 宮崎 景: 医学科・看護科学生による共同実習は、多職種連携コンピテンシーに有用か?～ポートフォリオ評価から～. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2016, 東京.
    - ・ 後藤道子 市川周平 近藤諭 森洋平 家研也 吉田和枝 辻川真弓 竹村洋典: 地域基

- 盤型・協働型臨床実習 (CbCCC) が学生の多職種連携への理解度へ及ぼす影響 (中間報告). 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2016, 東京.
- ・ 後藤道子, 森洋平, 竹村洋典: 医療面接ラボ-SP 参加型医療面接教育の可能性を広げる試み. 第48回医学教育学会 2016, 大阪.
  - ・ 洪 英在: 認知症を取り巻く諸問題～地域医療の現場から～. 第1回地域認知症ケアセミナー 2016, 長野県佐久市.
  - ・ 洪 英在: 栄養支援から地域づくりへの展開～在宅栄養支援の和の活動を通して～. 日本在宅医学会第1回地域フォーラム 2016, 福井.
  - ・ 黒田暢, 洪 英在, 若林千秋, 澁谷咲子, 四方哲: 退院目標を意識した独自の総合機能評価開発とその有用性に関する検討. 第27回日本老年医学会東海地方会 2016, 愛知.
  - ・ 黒田暢, 渋谷咲子, 若林千秋, 遠藤聡恵, 四方哲: へき地医療拠点病院の看護師として地域防災活動に参加して. 第47回日本看護学会ヘルスプロモーション 2016, 三重.
  - ・ 山路由実子, 岡本麻衣, 栗本真弓, 木下なつこ, 西脇理恵, 中野正孝: 健診データを活用した保健活動の展開における保健医療系大学の役割. 第75回日本公衆衛生学会 2016.
  - ・ 山路由実子, 中川秀行, 中島英子, 佐野裕樹, 鈴木さとみ, 河戸義男, 三吉由美子, 中道久, 山田幸典, 下野和子: 若年認知症の本人交流会と介護家族のつどいから見えてきた近年の課題. 認知症サミット in みえ 2016, 四日市.
  - ・ 四方 哲, 洪 英在, 矢部 千鶴, 鶴飼 友彦, 鶴田 真三, 和田 健治, 橋本 修嗣, 近藤 誠吾, 松林 陽, 竹村 洋典: 都道府県別の医療費と自宅死亡割合からみた過疎地域における公立病院の役割. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2016, 東京.
  - ・ 柴原美奈子: 「退院支援の現状」～医療介護連携を活用して～. 日本在宅医学会第1回地域フォーラム 2016, 福井.
  - ・ 若林英樹: 認知症介護家族への家族志向ケア～戦略的アプローチにより、夫への「反発」が緩和された症例～. 第33回日本家族研究・家族療法学会大会 2016, 長崎.
  - ・ 若林英樹, 矢部千鶴, 田口智博, 湯浅美鈴, 中富尚宏, 宮崎景, 竹村洋典, Todd Edwards: 家族志向の医療・ケア集中コース～三重大学
- 家族システム/心理社会医学フェローシップ構築の試み. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2016, 東京.
  - ・ 小椋友美, 大久保幸世, 上田加奈子, 門脇由香, 吉村恵美, 近藤誠吾, 四方哲: 血液培養でのコンタミネーション発生率とその要因. 第55回全国自治体病院学会 2016, 富山.
  - ・ 小林恭子, 渋谷咲子, 奥山敦, 洪英在, 井端清二, 四方哲, 庄山直美, 竹森さわか: 津市白山・美杉地域における保健・医療・福祉の連携「顔の見える会」の活動報告. 第47回日本看護学会ヘルスプロモーション 2016, 三重.
  - ・ 小林真理子, 大久保幸世, 杉本典子, 吉村恵美, 若林千秋, 池田道智江, 渋谷咲子: リンクチームによる手指衛生を強化した感染防止活動. 第55回全国自治体病院学会 2016, 富山.
  - ・ 小林真理子, 大久保幸代, 杉本典子, 吉村恵美, 若林千秋, 池田道智江, 渋谷咲子: 手指衛生に関する理解と教育効果. 第47回日本看護学会ヘルスプロモーション 2016, 三重.
  - ・ 松本暁子: 地域の支援を受けながら生活する夫婦と娘の思い. 第10回地域包括ケア研究会 2016.
  - ・ 森洋平: 医学・看護学合同 IPE 講義の成功プロセス～どのような経験をしてどのように達成したか～. 第48回日本医学教育学会 2016, 大阪.
  - ・ 千歳泰子, 萩原美香, 洪英在, 四方哲: 県立一志病院における訪問栄養指導. 第18回日本在宅医学会・第21回日本在宅ケア学会学術集会合同大会 2016, 東京.
  - ・ 大久保幸世, 小林真理子, 横山直子, 吉村恵美, 若林千秋, 池田道智江, 小林恭子, 小椋友美, 近藤諭, 橋本修嗣: 喀痰検体の質改善を目指した ICT のフィードバック活動. 第47回日本看護学会ヘルスプロモーション 2016, 三重.
  - ・ 大西 丈二: 年齢および要介護状態区分から推計する将来の介護サービス必要者数に関する研究. 第54回日本医療・病院管理学会学術総会 2016, 福岡.
  - ・ 大西 丈二, 小林 隆司, 小山 博史: 地域医療構想策定に資する都道府県単位での介護・慢性期医療の必要量に関するデータシート作成の試み. 第16回日本医療情報学会学術大会 2016, 宜野湾.
  - ・ 谷崎隆太郎: 急性腎盂腎炎における腹部 CT

- での腎周囲脂肪織濃度上昇の臨床的意義. 第59回日本感染症学会中日本地方学術集会 2016, 宜野湾市, 沖縄.
- ・ 谷崎隆太郎: 若年女性に生じた *Streptococcus pyogenes* 咽頭炎から重症肺炎へ進展した 1 例. 第 90 回日本感染症学会・学術講演会 2016, 仙台、宮城.
  - ・ 谷崎隆太郎: わが国初の輸入サルマラリア原虫 *Plasmodium knowlesi* 感染症の報告. 第 90 回日本感染症学会総会・学術講演会 2016, 仙台、宮城.
  - ・ 谷崎隆太郎: 感染症 3. 日本内科学会東海支部主催 第 231 回東海地方会 2017, 津市, 三重.
  - ・ 谷崎隆太郎, 志田幸太, 上垣内隆文, 大屋正樹, 原田直樹, 御前秀和, 竹村洋典: 十全大補湯による偽性アルドステロン症により低 K 性ミオパチーを呈した 1 例. 第 7 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2016, 東京.
  - ・ 池田道智江, 吉村恵美, 遠藤聡恵, 日置正子, 藤田くみ子, 福山みつ子, 澁谷咲子, 鶴飼友彦: 超高齢過疎地域における患者の受診動態—ICPC (プライマリ・ケア国際分類) を用いて—. 第 21 回日本老年看護学術集会 2016, 埼玉.
  - ・ 池田道智江, 吉村恵美, 竹森さわか, 庄山直美, 渋谷咲子, 中井義樹, 四方哲: 院外の啓発活動による住民健診受診者数増加の効果. 第 47 回日本看護学会ヘルスプロモーション 2016, 三重.
  - ・ 中桶亮太, 増山由紀子, 葛西龍樹, 加藤大祐, 山口佳子, Katrina Whalley, Su-Min Jeong: 日英/日韓短期交換留学のいままでとこれから(シンポジウム). 第 7 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2016, 浅草.
  - ・ 鶴田 真三, 牧野勢津子, 植村由佳子, 庄山直美: 津市白山地域における発達支援ネットワークの活動. 第 7 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2016, 東京.
  - ・ 田口智博: 早期医療体験カリキュラムに長年携わってきた教員はどのように考え、どのように実現してきたのか?. 第 48 回日本医学教育学会 2016, 大阪.
  - ・ 田口智博: メディカルチームコーチング～事例報告と今後の展開～. 日本臨床コーチング研究会 アドバンスミーティング 2016, 滋賀・甲賀.
  - ・ 田口智博, 他 7 名: メディカルチームコーチングプログラムの開発とその効果の検証～第 2 報. 第 18 回日本医療マネジメント学会学術総会 2016, 福岡.
  - ・ 藤井健人, 田口智博: 医療チーム評価尺度を用いた、医療従事者向けチームコーチングプログラムの発展. 第 7 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2016, 東京.
  - ・ 野尻光子, 野田里美, 藤田直美, 西川さゆり: 介護者家族会の意義と課題. 第 24 回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 2017, 久留米.
  - ・ 野尻光子, 野田里美, 藤田直美, 西川さゆり: 介護者家族会の意義と課題. 第 47 回日本看護学会ヘルスプロモーション 2016, 三重.
  - ・ 矢部千鶴 安来志保 武者幸樹子 孫大輔 竹村洋典: 母乳保育に関する保育施設職員の考え. 第 31 回日本助産学会学術集会 2017, 徳島.
  - ・ 矢部千鶴, 安来志保, 武者幸樹子, 孫大輔, 竹村洋典: 保育施設における母乳の取り扱いに関する調査. 第 7 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2016, 東京.
  - ・ 澁谷咲子, 小林恭子, 奥山敦, 洪英在, 四方哲: 津市白山・美杉地域の保健・医療・福祉の連携の取り組み報告. 第 18 回日本在宅医学会・第 21 回日本在宅ケア学会学術集会合同大会 2016, 東京.
  - ・ 澁谷咲子, 野田里美, 小林恭子, 若林千秋, 磯田晋一, 四方哲, 竹村洋典: 病院職員のダイエットクラブによる効果. 第 47 回日本看護学会ヘルスプロモーション 2016, 三重.
5. 海外学会・研究会発表 (口述, ポスターを含む)
- ・ Goto M, Yosida K, Mori Y, Ichikawa S, Fukui K, Yokoi Y, Tsujikawa M, Takemura YC: EDUCATIONAL EFFECTS OF A ONE-DAY INTERPROFESSIONAL WORKSHOP “MIE-IPE”: FINAL REPORTS OF 7 DEPARTMENTS AT 7 UNIVERSITIES. AMEE 2016.
  - ・ Haruta J, Goto M, Mori Y, Ichikawa S, Yoshida K, Yoshimoto H: Development of an interprofessional competency framework in Japan. ATBH 2016.
  - ・ Haya MAN: Managing the dwelling older community in Japan with Long-term care insurance: lessons learnt for Indonesia.

- 23rd Tri-U Joint International Seminar & Symposium 2016, Indonesia.
- ・ Haya MAN, Wakabayashi H, Ichikawa S, Takemura Y: Factors associated to family caregivers' quality of life in long-term elderly care: a study in rural area of Japan. 21st WONCA World Conference of Family Doctors 2016, Brazil.
  - ・ Ichikawa S, Kitamura M, Ukai T, Takemura Y.: Development of the novel scale to measure recognition about collaborations with occupational physicians among the attending physicians.. 48th APACPH 2016, Tokyo.
  - ・ Kato D: What do residents expect in initial clinical training in Japan?. Asia Pacific Regional Junior Doctors Network Meeting 2016, Pattaya, Thailand.
  - ・ Kim, YJ. Hong: Issues and impacts on people with ID having health warning signs and difficulty expressing their symptoms in the community. IASSIDD 15th World Congress 2016, Melbourne Australia.
  - ・ Kitamura M, Ichikawa S, Ukai T, Takemura Y.: Primary physicians' recognition of the need to collaborate with occupational physicians and the actuality of collaboration of each disease. 48th APACPH 2016, Tokyo.
  - ・ Satoru Shikata, Yousuke Takemura, Tomohiko Ukai: Rural public hospitals save medical expenses and promote home medical care in Japan. 21st WONCA World Conference of Family Doctors 2016, Rio de Janeiro, Brazil.
  - ・ Shuji HASHIMOTO, Satoru SHIKATA, Yousuke TAKEMURA: Does the direct phone with emergency services reduce the time for hospital selection?. 21st WONCA World Conference of Family Doctors 2016, Rio de Janeiro, Brazil.
6. ワークショップ, 講演会講師, その他(新聞掲載, テレビ出演等)
- ・ Keiko Abe, Michiko Goto, Chikako Inoue: Guess the Pain!!: A game to standardize pain expression. ASPE, 2016.
  - ・ 奥村圭子: 地域包括ケアシステム時代の訪問栄養士の役割. NPO 法人山口栄養サポートネットワーク 下関医療介護ネットワーク, 2017, 下関.
  - ・ 奥村圭子: 健康寿命の延伸と食の支援. 厚生労働省医薬・生活衛生局, 2017, 東京.
  - ・ 近藤諭, 原田直樹: 日本でどんな家庭医が育っているの?~第4回! 家庭医療専門医試験を体験する. 第28回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー, 2016, 湯河原.
  - ・ 近藤諭, 原田直樹: もし”ふつう”の研修医が家庭医療後期研修をうけたら~もしカテ~. 第28回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー, 2016, 湯河原.
  - ・ 田口智博: コーチングセミナー in 津. MMC 臨床研修指導医ブラッシュアップセミナー, 2017, 津.
  - ・ 葛西 龍樹, Seo Eun Hwan, 吉村学, 吉田伸, 高柳宏史, 増山由紀子, 櫻井広子, 森冬人, 加藤大祐: いっちゃえ! 海外交流? 勢いプラスアルファのコツ教えます?(ワークショップ). 夏季セミナー, 2016, 静岡(JP).
  - ・ 葛西龍樹, 増山由紀子, 朝倉健太郎, 大浦誠, 八百壮大, 原田直樹, 阿部計大, 小林直子, 加藤大祐, 佐治朝子, 坂井雄貴: プレセミナー③ 国際交流チーム 国際交流はじめての一步. 第12回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー, 2017, 東京.
  - ・ 葛西龍樹, 増山由紀子, 朝倉健太郎, 大浦誠, 八百壮大, 原田直樹, 阿部計大, 小林直子, 加藤大祐, 佐治朝子, 坂井雄貴, 国際交流チーム: 国際交流はじめての一步(セミナー). 冬期セミナー, 2017, 東京(JP).
  - ・ 関口健二, 許 智栄, 湯浅美鈴: その患者さん, 治療方針決められる? ~意思決定能力を評価する~. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 2016.
  - ・ 許 智栄, 湯浅美鈴, 関口健二: セッション③: 症例から学ぶ! ここが知りたい高齢者診療. 第28回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー, 2016, 熱海, 神奈川(JP).
  - ・ 後藤道子: 従業員接遇講座. 三重保険医協会, 2016.
  - ・ 後藤道子: OSCEでの学生のパフォーマンス評価をしてみよう. 東海 SP ネットワーク, 2017.
  - ・ 後藤道子: 接遇 I. 日本医師会, 2016.
  - ・ 高村昭輝: シンポジウム1「超高齢化社会と地域医療研修」. 第34回臨床研修研究会,

- 2016, 奈良(JP).
- ・ 高村昭輝: シンポジウム 8「地域基盤型医学教育の質の向上、展望を考える」. 第 48 回日本医学教育学会大会, 2016, 大阪(JP).
  - ・ 高村昭輝: シンポジウム「総合診療専門研修への期待と展望」. 第 5 回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会, 2016, 岐阜(JP).
  - ・ 柴田綾子, 坪谷透, 上島実佳子, 長谷田真帆, 阿部計大, 三島千明, 林伸宇, 加藤大祐: 健康の社会的決定要因を知り、本質を突く力をつける! . 第 12 回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー, 2017, 東京.
  - ・ 柴田綾子, 坪谷透, 上島実佳子, 長谷田真帆, 阿部計大, 三島千明, 林伸宇, 加藤大祐: 健康の社会的決定要因を知り、本質を突く力をつける!(ワークショップ). 冬期セミナー, 2017, 東京(JP).
  - ・ 赤木美智男 (杏林大学医学教育学)、高村昭輝 (金沢医科大学医学教育学)、平形道人 (慶応大学医学教育統括センター) 他: 「学外臨床実習の充実に向けて」. 第 60 回 岐阜大学医学教育開発研究センター・医学教育セミナーとワークショップ, 2016.
  - ・ 谷崎隆太郎: 「明日から使える! 外来での感染症診療」. 東海家庭医療ネットワーク講演, 2017, 津市, 三重 (JP).
  - ・ 谷崎隆太郎: 「抗菌薬治療のパラダイムシフト」. 名賀医師会臨床懇話会, 2016, 名張市, 三重 (JP).
  - ・ 中桶亮太, 増山由紀子, 葛西龍樹, 加藤大祐, 山口佳子, Katrina Whalley, Su-Min Jeong: 日英/日韓短期交換留学のいままでとこれから. 第 7 回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会, 2016.
  - ・ 田口智博: 行動科学・面接技法 コーチングを活用した行動変容～聴き方/訊き方次第で生活習慣病の患者さんの行動が変わる～. COMER NET AOMORI, 2016.
  - ・ 田口智博: コーチングセミナー in 津. MMC 臨床研修指導医ブラッシュアップセミナー, 2016.
  - ・ 田口智博: 岐阜大学医学部附属病院看護部 コーチング研修, 2016.
  - ・ 田口智博: コーチングセミナー. 宮城民医連医師総会, 2016.
  - ・ 田口智博: 効果的なフィードバックを中心に. 三重・独立行政法人国立病院機構 看護師研修 コーチング, 2016.
  - ・ 田口智博: メンタリングとコーチング、チームコーチング. 三重大学大学院 総合診療のための PhD コース, アカデミック GP 教育コース 医学教育学, 2017.
  - ・ 田口智博: 障害各論 (内部障害) 中級障害者スポーツ指導員養成講習会, 2016.
  - ・ 田口智博: コーチングを活用したメンタリング～聴き方訊き方次第で面談が変わる～. 聖路加国際病院, 2016.
  - ・ 田口智博: 病院の将来を展望する会: 今日の体験を深める～卓越したチームになるにはどうすればいいか?～. 大和高田市立病院, 2016.
  - ・ 田口智博: チーム医療を推進するチームコーチングの実践例. 第 10 回日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会大会, 2016.
  - ・ 田口智博: 医療組織のリーダーに必要なコーチング. 第 2 期明日の医療の質向上をリードする医師養成プログラム, 2016.
  - ・ 田口智博: 他職種や高血圧の患者さんとのコミュニケーションのコツ～ラポールと傾聴・承認～. 第 30 回 地域交流会講演会, 2016.
  - ・ 田口智博: 実践! コーチングセミナー～聴き方/訊き方次第で診療・教育・組織が変わる～. 第 37 回 NMC 研修医のためのブラッシュアップセミナー, 2016.
  - ・ 田口智博: 研修医指導のためのコーチングスキル. 第 6 回三重大学医学部附属病院\_第 19 回 MMC 合同指導医養成講習会, 2016.
  - ・ 田口智博: コーチング. 第 7 回三重大学医学部附属病院\_第 20 回 MMC 合同指導医養成講習会, 2016.
  - ・ 田口智博: 中京病院コーチングセミナー, 2017.
  - ・ 田口智博: コーチングセミナー. 東京大学公衆衛生大学院 医療コミュニケーション学実習, 2016.
  - ・ 田口智博: メディカルチームコーチングセミナー～卓越した成果創りにチャレンジする～. 日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会大会 ワークショップ, 2016.
  - ・ 田口智博: 人材育成: 貴方と組織の成長のススメ～コーチングを活用して自己実現する (セルフコーチング). 日本放射線技術学会 関東支部 平成 28 年度第 2 回学術講演会, 2016.
  - ・ 田口智博: コーチング入門. 名古屋大学医学

- 部4年生特別講義, 2017.
- ・ 田口智博、他1名: . 総合診療オープンカンファレンス, 2016.
  - ・ 田口智博、他1名: 総合診療オープンカンファレンス. 総合診療セミナー in 三重, 2016.
  - ・ 田口智博、他1名: . 中京病院コーチングセミナー, 2016.
  - ・ 田口智博、他2名: チーム医療を推進するメディカルチームコーチング~卓越した成果創りにチャレンジする~. 第2回尾頭橋虹の会, 2017.
  - ・ 田口智博、他2名: . 中京病院コーチングセミナー, 2016.
  - ・ 田口智博、他3名: メディカルチームコーチングセミナー~卓越した成果創りにチャレンジする~ . 静岡家庭医養成プログラムスペシャルグラウンドラウンド, 2016.
  - ・ 田口智博、他3名: メディカルチームコーチングセミナー~卓越した成果創りにチャレンジする~. 第11回日本臨床コーチング研究会総会・学術集会 アドバンスコース, 2016.
  - ・ 田口智博、他3名: 行動変容×コーチング~聴き方訊き方次第で患者さんの行動が変わる~. 第12回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー, 2017.
  - ・ 田口智博、他3名: 今年もやります! コーチングができる医療者へ! ~一歩先をいくコミュニケーションへのサマーレッスン~. 第28回 学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー, 2016.
  - ・ 田口智博、他3名: 実践 コーチングセミナー~聴き方訊き方次第で診療・教育・組織が変わる~. 第7回日本PC学術大会ワークショップ, 2016.
  - ・ 田口智博、他3名: 診療・教育・組織で役立つ! 実践コーチングセミナー. 日本プライマリ・ケア連合学会 第13回秋期生涯学習セミナー, 2016.
  - ・ 田口智博、他多数: . 多職種協働のチーム医療プログラム (IDT-MIE ; Inter Disciplinary team) , 2016.
  - ・ 湯浅美鈴: . 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会, 2016.
  - ・ 湯浅美鈴: . 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会, 2016.
  - ・ 湯浅美鈴: . 緩和ケア研修会 PEACE, 2017.
  - ・ 内堀善有, 谷崎隆太郎, 他: ケースから学ぶ、一歩進んだワクチン・プラクティス. 日本プライマリ・ケア連合学会第12回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー, 2017, 文京区、東京(JP).
  - ・ 片岡裕貴 ,加藤大祐 ,添野祥子 ,中田理佐 ,花本(中西)明子 ,草野超夫 ,福原俊一, 柏崎元皓: やっつけ仕事にしない「研究」ポートフォリオ ~後期研修医ができる臨床研究~. 第12回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー, 2017, 東京.
  - ・ 片岡裕貴, 加藤大祐, 添野祥子, 中田理佐, 花本(中西)明子, 草野超夫, 福原俊一, 柏崎元皓: やっつけ仕事にしない「研究」ポートフォリオ ~後期研修医ができる臨床研究~(ワークショップ). 冬期セミナー, 2017, 東京(JP).
  - ・ 矢部千鶴: 子育て家族を支える~家庭医の視点から~. 平成28年度第2回南勢志摩地域子育て支援センター担当者会議, 2016.

## ■ 今後の展望

当診療科は、大学病院に訪れる患者さんのニーズに応えられるように頑張ります。とくに大学病院の総合診療科でしか解決できないような患者さんの期待に応じていきたいと思います。また、医学生や研修医に総合診療を教育・研修して、三重県や全国にプライマリ・ケアを効果的に実施できる医師を育成していきます。その教育ができる指導医・教員の育成をします。多職種医療従事者が協働して患者さんおケアができるように教育します。さらには総合診療にかかわる研究を精力的に実施して、日本や世界の総合診療・家庭医療の発展に寄与してきます。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/soshin/>